

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事

1. 現場の状況

工事場所は、福山市本郷町 1040 番地 1 に位置し、北側は福山市道東村神村 1 号線、西側は福山市道本郷 9 号線に接しています。

本工事を行う建物は小学校敷地内にあり、当該工事期間中も通常通り施設は小学校業務を運用しています。

2. 福山市週休 2 日適用工事について

（発注者が指定した工事に該当し実施については ○印のついたものを適用する）

- ・ 発注者指定型
- 受注者希望型
- ・

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休 2 日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休 2 日適用工事の実施について）によるものとします。

3. 留意事項

①地元企業・地場製品の活用

受注者は、地元企業及び地場製品の活用に努めてください。

②建設リサイクル法の適用外

本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、建設副産物入力システム（COBRIS）による計画書及び実施報告書を提出してください。

③現場代理人及び監理（主任）技術者等の配置

現場代理人及び監理（主任）技術者は、契約約款及び建設業法等の関係法令に違反しないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。

④工程管理

工程管理については、各施設管理者と十分に協議のうえ、施設運用に支障を及ぼさないよう適切に計画してください。

⑤安全確保

工事期間中は労働災害の防止に加え、施設利用者に対する公衆災害の防止に万全を期し、安全確保に必要な措置を適切に講じてください。

また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。

⑥工事車両の出入り

工事車両の出入口から道路へ泥等を持ち出さないよう十分留意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに現状復旧を行ってください。

⑦既存工作物等の保護

工事により既存工作物等に損傷を与えないよう必要な対策を講じてください。万一損傷を与えた場合は、監督員及び各施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。

⑧物品の移動

工事の遂行に支障となる物品等がある場合は、必ず施設管理者と協議のうえ、当該物品の移動について依頼してください。

⑨工事車両の駐車位置

工事車両の駐車位置は、各施設管理者と協議のうえ決定してください。

⑩騒音・振動・粉塵対策

工事中の重機等による騒音・振動及び粉塵等が発生する作業を行う際は、十分な対策を講じてください。

⑪施工計画書の提出

工事の着手に先立ち、関係者との調整を行い、十分検討のうえ工事計画をまとめた施工計画

書を作成し提出してください。また必要に応じて工種別施工計画書を作成し、提出してください。

⑫当初工程表の提出

当初工程表は契約後 14 日以内に提出してください。なお、作業工程については、監督員及び各施設管理者と十分に協議調整のうえ作成してください。

⑬官公署への手続き

工事の施工にあたり官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。

⑭別途工事との調整

構内で別途工事が行われる場合は、当該工事受注者と調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

4. 関連工事

- ・ 建築工事
- ・ 電気設備工事
- ・ 冷暖房設備工事
- ・ カーテン取付工事

(別紙・受注者希望型)

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日適用工事である。
なお、本適用工事の取組を希望しない受注者は、5～12に規定する義務を負わない。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上現場閉所等を行っているものとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表

(以下「計画表」という。)を提出するものとする。

なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類(工事日誌、出勤簿等をいう。)とともに毎月7日(7日が閉庁日の場合は翌開庁日)まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費とする。)及び現場管理費を補正するものとする。

なお、発注時点では、週休2日の経費を見込んでおらず、現場閉所等の実績に基づき、変更契約を行うものとする。

 - (1) 完全週休2日(土日)
 - ア 労務費 1.02
 - イ 現場管理費 1.01
 - (2) 月単位の週休2日
労務費 1.02
- 11 週休2日を達成したときは、工事成績評価表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評価は減点しない。
- 12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修 給排水衛生設備工事

図面リスト		
図番	図面名称	縮尺
P-0	図面リスト	—
P-1	機械設備工事特記仕様書No.1	—
P-2	機械設備工事特記仕様書No.2	—
P-3	工事区分表	—
P-4	附近見取図、配置図、凡例、機器表、勾配図	1:500 1:100
P-5	平面図(改修後)	1:100
P-6	平面詳細図(改修前・後)	1:50
P-7	平面図(改修前)	1:100
P-8	換気機器表、換気設備平面図	1:100

福山市建設局建築部設備課

福山市建設局建築部設備課					
主務	課員	次長	次長	設備課長	建築部長

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

- 1 工事名称 福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事
- 2 工事場所 福山市本郷町1040番地1
- 3 用途地域 第一種住居地域
- 4 防火地域 防火地域 準防火地域 指定なし
- 5 工事種別 新築 増築 改築 改修
- 6 敷地面積 9,195.98m²
- 7 建物概要
 - 1) 構造 S造平屋建
 - 2) 面積 建築面積 775.95m²
延べ面積 694.44m²

概要	1F:694.44m ²
 - 3) 附属施設

- 8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項
 - 9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 (小学校)
 - * 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。
 - * 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。
 - * 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。
- II 工事種目** (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	工 事 種 目
<input checked="" type="radio"/> 給排水衛生設備工事	<input checked="" type="radio"/> 空気調和設備工事
<input checked="" type="radio"/> 衛生器具設備工事	1 空気調和設備工事
<input checked="" type="radio"/> 給水設備工事	<input checked="" type="radio"/> 換気設備工事
<input checked="" type="radio"/> 排水設備工事	3 排煙設備工事
<input checked="" type="radio"/> 給湯設備工事	4 自動制御設備工事
<input checked="" type="radio"/> 消火設備工事	
6 厨房機器設備工事	
7 ガス設備工事	
8 浄化槽設備工事	

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

給排水	給水方式	<input checked="" type="radio"/> 直轄直圧式 ・ 直轄増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
	排水方式	<input checked="" type="radio"/> 自然流下 ・ ポンプ排水 (汚物・水・雑排水)
	放流先	汚水 直放流下水管 <input checked="" type="radio"/> 浄化槽 雑排水 直放流下水管 浄化槽 <input checked="" type="radio"/> 側溝 ・ 別途排水
	給湯設備	方式 (風呂所・中央式) 熱源 (電気・都市ガス・液化石油ガス・灯油・A重油)
衛生設備	消火設備	<input checked="" type="radio"/> 屋内消火栓 ・ 連絡送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連絡散水 ・ 消火器 フード等簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火
	ガス設備	都市ガス 種別T3-A(4-5-M-J-N) ・ 液化石油ガス
空気調和設備	浄化槽	小規模合併処理 ・ 合併処理 <input checked="" type="radio"/> 単独浄化槽 空気調和方式等 (ファンコイルユニット、ダクト併用方式)
	主要熱源機器	鋼鉄ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ テリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機 吸収冷凍機 ・ 直置き吸収冷凍機 ・ 小形吸収冷凍機ユニット コージェネレーション装置 ・ 水蓄熱ユニット パッケージ空気調和機 ・ ガスエンジンパッケージ形空気調和機
空調設備	換気設備	1種換気 ・ 2種換気 <input checked="" type="radio"/> 3種換気 ・ 全熱交換器
	排煙設備	機械排煙 (有り・無し) ・ 適用法則 (建築法・消防法)
衛生設備	自動制御設備	自動制御方式 (電気式・電子式・デジタル式) 中央監視制御装置

IV 機械設備工事仕様

- 1 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同業種部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。))及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。

建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。

(1) 官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

(2) 地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。

- (3) 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。
- 特記仕様
 - (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項は※および○印のついたものを適用する。
 - 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)

章 項 目	特 記 事 項																																					
<input checked="" type="radio"/> 1 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> 公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版) <input checked="" type="radio"/> 建築基準法、消防法、その他関係法令 <input checked="" type="radio"/> 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)建設経済局建設課・住戸建築指導課監修 <input checked="" type="radio"/> 建築工安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長連達 <p>受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。</p> <p>・適用する。 ・適用しない</p>																																					
<input checked="" type="radio"/> 2 監理(主任)技術者	<p>・適用する。 ・適用しない</p> <table border="1"> <tr> <th>工 事 別</th> <th>適 用 種 別</th> <th>工 事 別</th> <th>適 用 種 別</th> </tr> <tr> <td>・配 管</td> <td>配管施工</td> <td>・冷凍機、空調機</td> <td>冷凍空調和機器施工</td> </tr> <tr> <td>・保 温</td> <td>熱絶縁施工</td> <td>・風道、換気</td> <td>建築板金施工</td> </tr> </table> <p>受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。</p> <p>※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)</p> <p>技術者台帳(施工体制台帳に添付)</p> <p>監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。</p> <p>※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)</p> <p>工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所定の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)</p> <p>形状、寸法等が設計書と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。工事に使用する機器および材料は、アスベストを含有しないものとする。</p> <p>国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。))により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。</p> <p>材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。</p> <p>・引渡しを要するもの () ・現場において再利用するもの ()</p> <p>※再資源化を図るもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材 ・コンクリート及び鉄からなる建設資材 <p>※上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。))、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(以下、「資源有効利用促進法」という。))、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下、「廃棄物処理法」という。))その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。</p> <p>※建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報センター</p> <p>本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。</p> <p>また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>施工計画時</th> <th>工事完了時</th> </tr> <tr> <td>搬入</td> <td>再生資源利用計画書</td> <td>再生資源利用実施書</td> </tr> <tr> <td>搬出</td> <td>再生資源利用促進計画書</td> <td>再生資源利用促進実施書</td> </tr> </table> <p>※本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物処理税が課税される。</p> <p>なお、本工事は広島県産業廃棄物処理税相当額を含んでいる。</p> <p>建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編-」によるほか特記がない場合は、以下による。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>規格</th> <th>撮影枚数</th> <th>提出部数</th> </tr> <tr> <td>着手前</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>必要に応じた数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>必要に応じた数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td>L版程度(カラー)</td> <td>各室4面 外景4面</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>建設副産物は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等を監督員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 各種写真は、写真帳(A4版)にて工事完成時に提出する。 <input checked="" type="radio"/> 原簿等の提出 する(完成時のみ・全て) <input checked="" type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> 提出の方法及び形式は、監督員の指示による。 <p>速やかに次の図書を提出する。</p> <p>竣工図 <input checked="" type="radio"/> A3版2つ折りに製本 () 2部</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 完成図 <input checked="" type="radio"/> 施工図 保全に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等) <input checked="" type="radio"/> 竣工図電子データ(施工図含む)一式(「竣工図電子データ作成要領」による。) <input checked="" type="radio"/> CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による) <p>施工範囲 「工事区分表」による。</p> <p>※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。</p>	工 事 別	適 用 種 別	工 事 別	適 用 種 別	・配 管	配管施工	・冷凍機、空調機	冷凍空調和機器施工	・保 温	熱絶縁施工	・風道、換気	建築板金施工		施工計画時	工事完了時	搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書	搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書	分類	規格	撮影枚数	提出部数	着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1	工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1	完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外景4面	1
工 事 別	適 用 種 別	工 事 別	適 用 種 別																																			
・配 管	配管施工	・冷凍機、空調機	冷凍空調和機器施工																																			
・保 温	熱絶縁施工	・風道、換気	建築板金施工																																			
	施工計画時	工事完了時																																				
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書																																				
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書																																				
分類	規格	撮影枚数	提出部数																																			
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1																																			
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1																																			
完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外景4面	1																																			
<input checked="" type="radio"/> 3 施工管理																																						
<input checked="" type="radio"/> 4 機器材料等																																						
<input checked="" type="radio"/> 5 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 6 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 7 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 8 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 9 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 10 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 11 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 12 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 13 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 14 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 15 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 16 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 17 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 18 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 19 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 20 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 21 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 22 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 23 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 24 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 25 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 26 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 27 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 28 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 29 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 30 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 31 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 32 発生材の処理																																						
<input checked="" type="radio"/> 33 発生材の処理																																						

- 1 足場

建築工事に伴う足場及び安全囲いは、無償にて使用できる。

 - ・本工事で設置する。
 - ・内部足場 (・ 単管足場 ・ 枠組足場)
 - ・外部足場 (・ 枠組足場 ・ 単管足場)

※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン)によるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。

 - ・同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
 - ・本工事は、交通誘導員として0人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。

※受注者は、次表に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。

登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、閉日、日曜日、祝日、年末年始の閉日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要)

※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。

なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)

本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。

本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。

運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。

 - ・発注者指定型
 - ・共通仮設置として情報共有システムの利用を見込んでいる。

受注者は、本システムを利用できない特別な事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。

受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る)

工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。

本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。

その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設置に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。

下記項目の測定を行ない監督員に提出する(部)

 - ・温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃
 - ・飲料水(給水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。

監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。

特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。

標準仕様書によるほか下記による。

 - ・運転ブロック図に適合するものとする。
 - ・ボイラー及び冷水機等の附属機の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接点及び端子は、標準仕様書 ※ 適用する ・ 機器表特記による

標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(塗装部分は、鉄製・コンクリート製)

排水管を除く地中配管には、土壌り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

 - ・放射線透過検査等 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならぬ補修する。

ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304) 又は溶亜鉛めっき仕上がりとする。

設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。

標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

 - イ) ポリスチレンフォーム - 給水配管、排水配管の多湿場所
 - ロ) グラスウール ----- 給水配管、給湯配管、ダクト類、冷水水配管等
 - ハ) ロックウール ----- 排気ダクト、排煙ダクト

ベトログラム系防食テープ (1/2重ね、1回巻き) + プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)

プレブルム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻き)

熱収縮材

防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 19010 0.4mm) 1/2重ね、2回巻
- 2 足場

標準仕様書及び図示による。

外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管(VU)とする。

(柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙張仮枠としてもよい。)

図面に記載されている数値以上とする。

 - 10 機器性能
 - 11 電気容量
 - 12 防火区画の貫通処理
 - 32 防火区画の貫通処理
 - 33 湯排配管の検査

防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

 - ・ガス配管 ・ 蒸気配管 ・ 冷水水配管 ・ 冷却水配管 ・ 油管
 - ・非破壊検査の適用 ※ 無し
 - ・有り(・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)

判定基準 ()

抜取率は、標準仕様書による
- 3 情報共有システム (CORINS) への登録

工事実績情報システム (CORINS) への登録
- 4 情報共有システム

情報共有システム
- 5 測定表

測定表
- 6 説明板

説明板
- 7 電線類

電線類
- 8 機器附属の制御盤

機器附属の制御盤
- 9 防振振手

防振振手
- 10 埋設表示

埋設表示
- 11 はつり工事

はつり工事
- 12 補修など

補修など
- 13 支持金物・固定金具

支持金物・固定金具
- 14 耐震施工

耐震施工
- 15 保温材

保温材
- 16 鋼管類の地中埋設

鋼管類の地中埋設
- 17 鋼管類の地中埋設

鋼管類の地中埋設
- 18 塗装

塗装
- 19 スリーブ

スリーブ
- 20 機器性能

機器性能
- 21 電気容量

電気容量
- 22 防火区画の貫通処理

防火区画の貫通処理
- 23 湯排配管の検査

湯排配管の検査
- 24 耐震施工

耐震施工
- 25 保温材

保温材
- 26 鋼管類の地中埋設

鋼管類の地中埋設
- 27 鋼管類の地中埋設

鋼管類の地中埋設
- 28 塗装

塗装
- 29 スリーブ

スリーブ
- 30 機器性能

機器性能
- 31 電気容量

電気容量
- 32 防火区画の貫通処理

防火区画の貫通処理
- 33 湯排配管の検査

湯排配管の検査

34 化学物質の測定	<ul style="list-style-type: none"> 測定対象化学物質 () ・ 測定方法 () 測定対象 () ・ 測定箇所 () <p>事前調査 調査項目(本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。)</p> <p>工事着手に先立ち、設計図面(A3版縮小)製本を提出する。 () 部</p>
35 施工調査	
36 その他	
<input checked="" type="radio"/> 1 工事現場仮囲い	<ul style="list-style-type: none"> ナイロンロープ張り ・ 木製仮囲い ・ 鋼製仮囲い ・ しない
<input checked="" type="radio"/> 2 受注者事務所等	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内に建てることができる。
<input checked="" type="radio"/> 3 工事用水	<ul style="list-style-type: none"> 構内既存の施設 <input checked="" type="radio"/> 有償で利用できる ・ 無償で利用できる ・ 利用できない (測定器設置等)
<input checked="" type="radio"/> 4 工事用電力	<ul style="list-style-type: none"> 構内既存の施設 <input checked="" type="radio"/> 有償で利用できる ・ 無償で利用できる <input checked="" type="radio"/> 利用できない (測定器設置等)
<input checked="" type="radio"/> 5 引渡しまでの光熱水費	<ul style="list-style-type: none"> 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※ 受注者負担 ・ 別途 本引込みより引渡しまでの使用料 ※ 受注者負担 ・ 別途
<input checked="" type="radio"/> 1 衛生陶器附属品	<ul style="list-style-type: none"> 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は繊維材塗装加工とする。 ・ 図示陶器品番 JIS記号 <input checked="" type="radio"/> 図示陶器品番 TOTO記号 (同等品以上)
<input checked="" type="radio"/> 2 大便器	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュバルブ <input checked="" type="radio"/> ロータック
<input checked="" type="radio"/> 3 小便器	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュバルブ <input checked="" type="radio"/> 自動洗浄 (<input checked="" type="radio"/> 通別 ・ 無電)
<input checked="" type="radio"/> 4 大便器洗浄弁	<ul style="list-style-type: none"> ・ パキュームブレーカー付
<input checked="" type="radio"/> 5 洗浄用タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器製 ・ 防曇形陶器製 ・ 合成樹脂製 ・ 防曇形合成樹脂製
<input checked="" type="radio"/> 6 便座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通便座 (・ 蓋有り ・ 蓋無し) <input checked="" type="radio"/> 温水洗浄便座 <input checked="" type="radio"/> 暖房便座
<input checked="" type="radio"/> 7 化粧棚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器製 ・ 金属製
<input checked="" type="radio"/> 8 化粧鏡	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 一般鏡 ・ 耐食鏡 ・ 盗難防止形
<input checked="" type="radio"/> 9 和風便器耐火カバー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける (ビットは除く) ・ 設けない
<input checked="" type="radio"/> 10 手洗器	<ul style="list-style-type: none"> 止水栓付
<input checked="" type="radio"/> 11 洗面器	<ul style="list-style-type: none"> 止水栓付
<input checked="" type="radio"/> 12 紙巻器	<ul style="list-style-type: none"> 竣工時ペーパーを設置する。 (<input checked="" type="radio"/> ファンタッチ式 ・ ファンハンドカット式) ・ 台所流し用水栓は、泡沫式とする。
<input checked="" type="radio"/> 13 水栓	<ul style="list-style-type: none"> 竣工時水セッケンを補充する。 (水セッケン入れ) ・ 壁付形
<input checked="" type="radio"/> 14 水セッケン入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陶器形 ・ 壁付形
<input checked="" type="radio"/> 15 セッケン受け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋込形 ・ 壁付形
(屋内)	
<input checked="" type="radio"/> 1 給水方式	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 直轄直圧式 ・ 直轄増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
<input checked="" type="radio"/> 2 管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB ・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD <input checked="" type="radio"/> 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (<input checked="" type="radio"/> H1VP ・ VP) ・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769 , JIS K 6787) ・ ポリブテン管 (JIS K 6778 , JIS K 6792) ・ ポリエチレン管 (JIS K 6762 , JWWA K 144) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
<input checked="" type="radio"/> 3 弁	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> JIS 10K (市水道に直結する配管に使用) ・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用)
<input checked="" type="radio"/> 4 フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製円筒形
<input checked="" type="radio"/> 5 伸縮管継手	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベローズ形準式 ・ ベローズ形模倣
<input checked="" type="radio"/> 6 高置水槽	<ul style="list-style-type: none"> ・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製 ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト) ・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製
<input checked="" type="radio"/> 7 受水槽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼板製 (・ パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
<input checked="" type="radio"/> 8 鋼板製水槽の防錆	<ul style="list-style-type: none"> ・ エポキシ樹脂コーティング ・ 亜鉛アルミニウム及びその合金溶射
<input checked="" type="radio"/> 9 排水及び加圧給水ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・ φ x /min x m x kW x 台
<input checked="" type="radio"/> 10 ポンプ基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準型 ・ 防振型
(屋外)	
<input checked="" type="radio"/> 1 管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB ・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD <input checked="" type="radio"/> 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (<input checked="" type="radio"/> H1VP ・ VP) (原厚50未満) ・ ポリエチレン管 (JIS K 6762 , JWWA K 144) (原厚50未満) ・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769 , JIS K 6787) ・ ポリブテン管 (JIS K 6778 , JIS K 6792) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304
<input checked="" type="radio"/> 2 弁	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> JIS 10K (市水道に直結する配管に使用) ・ JIS 5K (高置水槽以降の配管に使用) ・ 市規格品 <input checked="" type="radio"/> VC形 <input checked="" type="radio"/> 市販品
<input checked="" type="radio"/> 3 弁料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買入 ・ 借形
<input checked="" type="radio"/> 14 量水器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道局規格形 ・ MC形
<input checked="" type="radio"/> 15 量水器掛	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 300mm以上(車両道路以外) <input checked="" type="radio"/> 600mm以上(車両道路) ・ 凍結深度(400mm)以上 ・ 標準図による。
<input checked="" type="radio"/> 16 埋設深さ	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 凍害位を吸収できるようにスリークッションとする。
<input checked="" type="radio"/> 17 建物導入部配管	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモート型 ・ 流量計 台
<input checked="" type="radio"/> 18 隔測メーター	<ul style="list-style-type: none"> 鋼管の接合は管端コア継手等を使用する。 給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。 水圧試験は配管途中、懸べ埋戻し前又は配管完了後の被覆施工前に、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。 ・ 配管工事中に管内に異物の混入なきよう十分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。 ・ 飲料水以外の給水管は、接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。
<input checked="" type="radio"/> 19 その他	

① 管 (第1棟まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 排水用鉛管 (SHASE-S203) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP
② 通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管
3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
4 ビット内配管保温 (屋外)	・ 施工する ・ 施工しない
⑤ 方式	○ 自然排水 ・ ポンプ排水
⑥ 管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (○VP ※VU)
⑦ インバート斜	・ SA, AB形 ・ SC形 ○小口径
⑧ インバート斜用蓋	○ 塩ビ製 ○ 鋳鉄製 (・ MHA ・ MHB ○小口径用防護ハット)
9 排水斜	・ RA, RB形 ・ SC型 ・ 小口径
10 排水斜用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鋳鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 ○ 6m/m
⑪ 埋設深さ	○ 300m/m以上 (車両道路以外) ○ 600m/m以上 (車両道路) ・ 勾配図による。
⑫ その他	○ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。

1 方式	・ 単管式 ・ 復管式
2 管	・ 鋼管 (JIS H 3300) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ JIS 10K ・ JIS 5K ・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 () ・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 () ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。

① 管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 消防用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS ※ 消防用配管は、消防法令に適合するものとする。
② 弁	○ JIS 10K
③ 消火栓箱 (撤去)	○ 総合形 (・ HB-1A ○ HB-1B) ・ 単独形 (・ HB-2A ・ HB-2B) ・ 総合形 (・ HB-4A ・ HB-4B) ・ 消火器箱併設形 (・ HB-1AS ・ HB-1BS)
4 水源用水槽	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
⑤ 消火ポンプユニット (撤去)	○ 認定型 65φ x 300L/min x 37m 5.5kW x 1台
6 ポンプ基礎	・ 標準型 ・ 防振型
7 消火器	・ ()型 ()本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共
8 保温	イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する
9 その他	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。

1 処理種別	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 (・ BOD mg/以下 ・ COD mg/以下 ・ T-N mg/以下 ・ T-P mg/以下)
2 構造	・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 ()
3 形式・容量	・ ユニット型 ()型 人槽 /日 ・ 現場施工型 () 人槽 /日
4 排水方式	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ()
5 マンホール	・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品
6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。

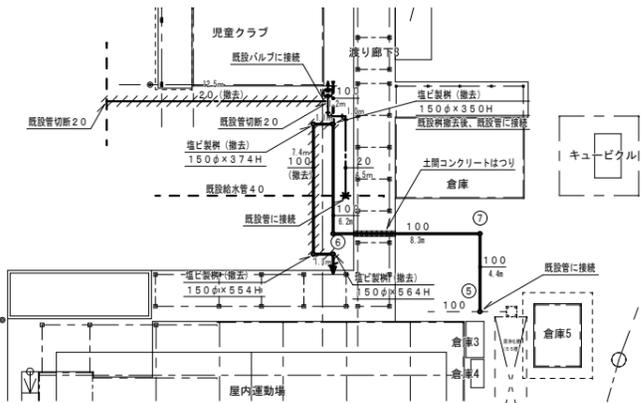
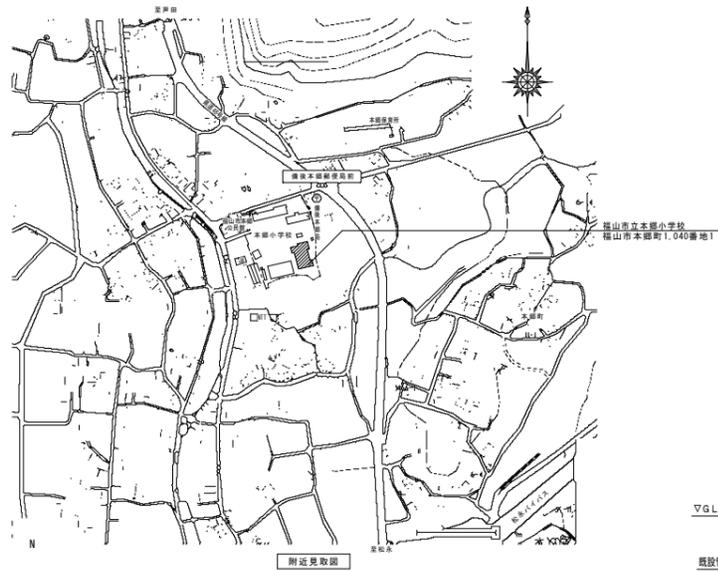
1 種別	・ 都市ガス ・ 液化石油ガス
2 管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・ 塩化ビニル被覆鋼管
3 継手	・ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・ PLS継手同等品以上 ・ 溶接継手
4 プロパンガス集合装置	・ () kgメ () 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () kg ・ 整型 ・ 模型
5 機器等	・ 別図による
6 遮断装置等	・ 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。
7 その他	・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。

1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条 件</th> <th colspan="2">屋 外</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>季 節</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏 季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条 件	屋 外		屋 内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	季 節					夏 季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬 季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
条 件	屋 外		屋 内																						
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																					
季 節																									
夏 季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																					
冬 季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																					
2 冷水・温水・冷却水	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 膨張・補給水管 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304																								
3 高気・油管及び冷媒管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ・ 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009)																								
4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																								
5 給水及び排水	給、排水設備の項による。																								
6 フランコイルユニット及びパッケージエアコン	・ 床置形 ・ 天吊形 (・ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)																								
7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製																								
8 吹出口・吸込口	・ 棒及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製																								
9 防煙・防火ダンパー	・ 防煙ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防煙防火ダンパー (SFD) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式																								
10 風道	・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオフフランジ工法 ・ アングルフランジ工法) 消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜きを設ける。自動空気抜きは、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の (100) %を予備品 (特付) として納める。																								
11 冷温水管の空気抜																									
12 その他																									
13 予備品等																									

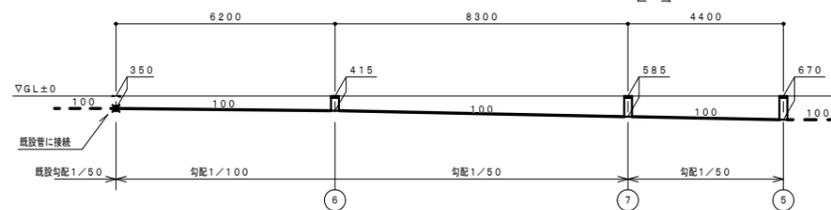
1 ダクト	低圧ダクト (・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可)
2 風量測定口	取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。
3 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
4 排気ダクトのシール	・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
5 チャンパー	空気調和設備の当該項目による。
6 保温	下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用ダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・ 厨房・湯沸室・) のダクト (仕様はh・(イ)・VE とし範囲は図示による。) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)

1 中央監視制御装置	・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し
2 電源装置	・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
3 計装工事の記録	屋外、屋内露出の記録は、図面に特記のない限り金属管記録とする。

自動制御設備	
--------	--



放課後児童クラブ (先行工事部分) 1:200

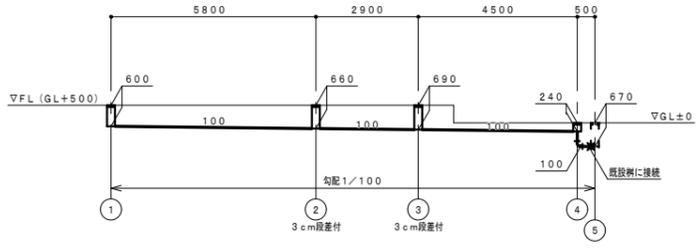


污水排水勾配図 (先行工事部分)

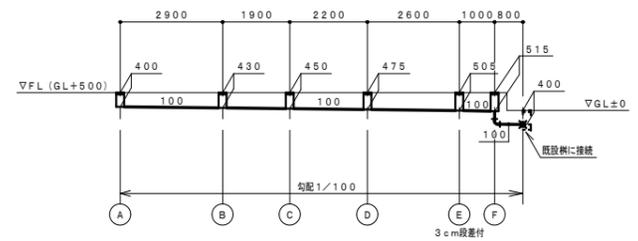
記号	種類	寸法	深さ	備考
⑤	汚水溝	90Y-100-150	-6.70	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
⑥	汚水溝	90L-100-150	-4.15	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
⑦	汚水溝	90L-100-150	-5.85	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋

記号	名称	施工場所	管種	備考
—	給水管	屋内一般配管、地中配管	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP)	JIS K 6742
—	雑排水管	屋内一般配管、地中配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
—	汚水管	屋内一般配管、地中配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
—	通気管	屋内一般配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741-11
—	消火管	屋内一般配管	配管用炭素鋼鋼管 (白)	JIS G 3452
—	ガス管	屋外露出配管	配管用炭素鋼鋼管 SGP-S	JIS G 3452
■	埋設標示	未舗装 (コンクリート柱)		
—	既設管	既設管に接続	既設の配管及び側溝への接続を示す。	
—	既設管	既設管閉鎖	既設管の切断後の閉鎖を示す。	
—	既設管	既設管	細線は既設管を示す。	
×-×-×	放棄管 (不要管)	改修後、撤去せずそのまま放棄 (残置) する管を示す。		
///	撤去範囲			
□	土間コンクリートはつり補修範囲			

- 【注 記】
1. 配管が、防火区画等を貫通する場合は、令第129条の2の4及び告示1422号に準じて処理を行う。
 2. 令第112条第19項の規定により、管と防火区画のすき間は不燃材料で埋める。
 3. 建築設備の支持構造部及び堅結食物で腐食の恐れがある部分には、第1388号に準じて防食措置を講ずる。(令第129条の2の4第2号)
 4. 配管設備の構造は、第129条第4項の規定に準ずる。(令第129条の2の4第2号)
 5. 水栓の開口部には、逆流防止のため水栓とあふれ皿の排水口空間を確保する。(令第129条の2の4第2項2号)
 6. 排水管の連続による壁面のおそれのある部分は、防凍の措置を行う。(令第129条の2の4第2項4号)
 7. ウォーターハンマーが起こりうる箇所は防凍のための措置を行う。(令第129条の2の4第2項)
 8. 腐食の恐れのある部分には、当該部分の材料に合った腐食防止措置を行う。(令第129条の2の4第1項1号)
 9. 配管埋設時に山砂で配管保護を行う。

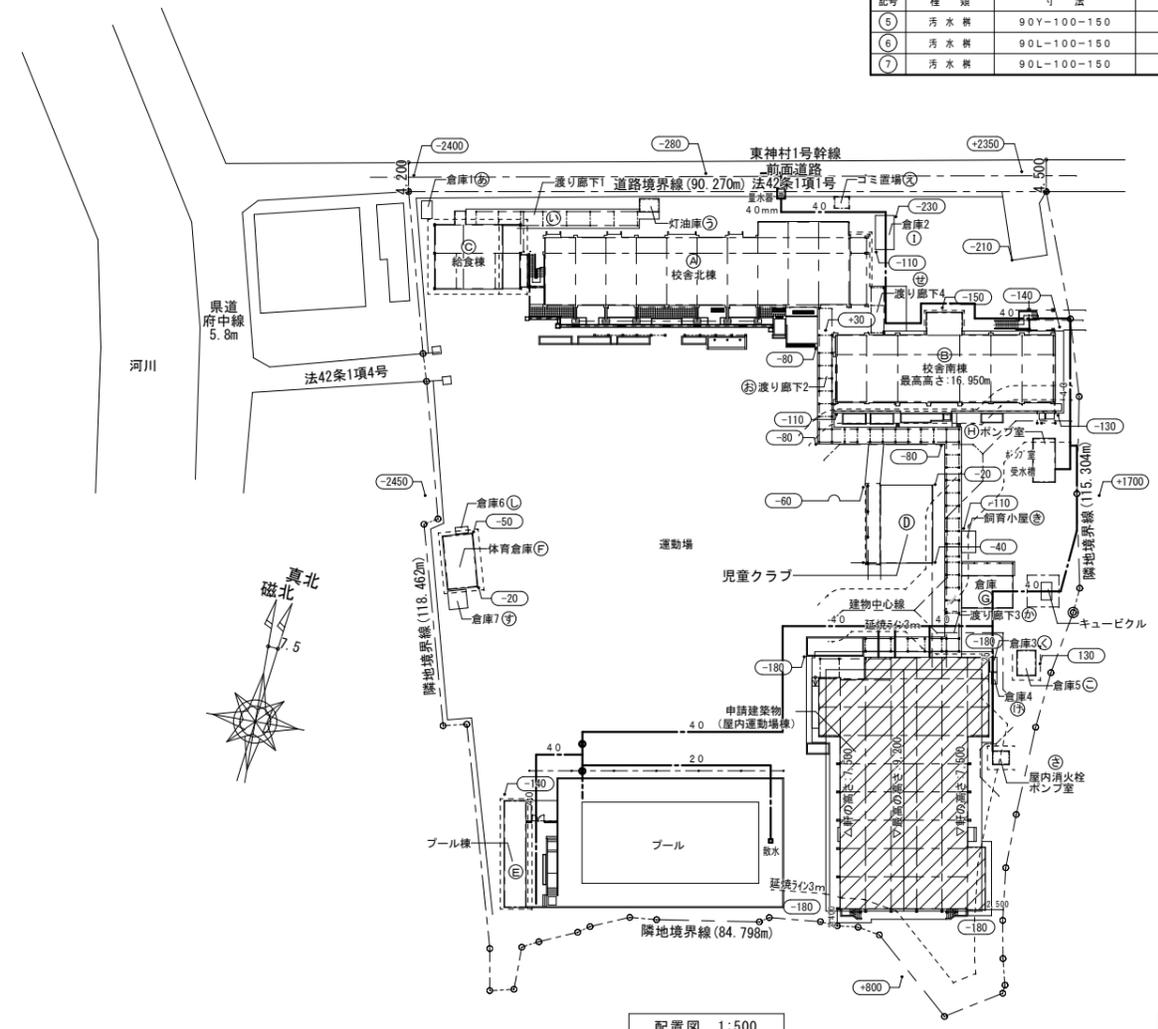


污水排水勾配図



雑排水勾配図

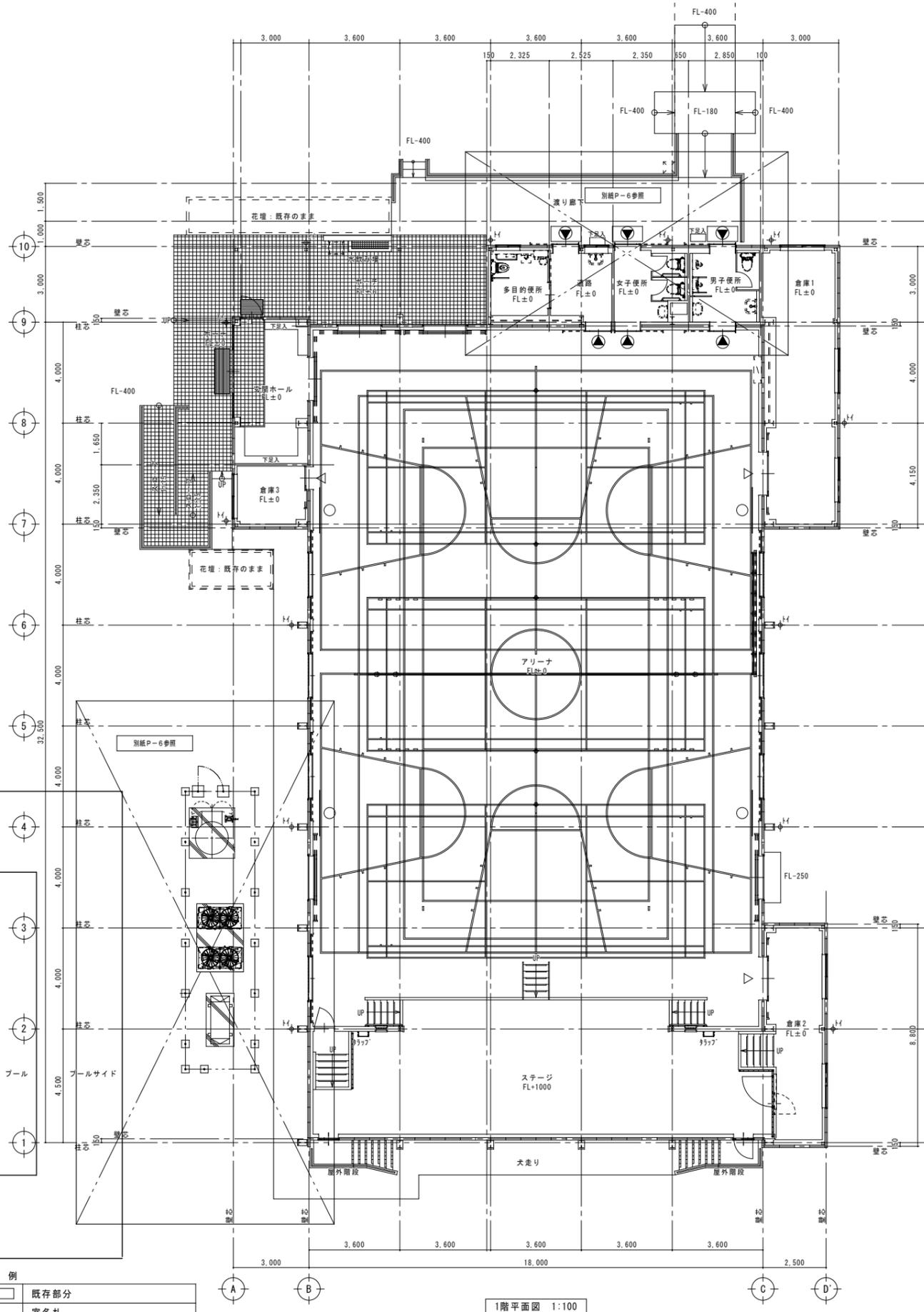
記号	種類	寸法	深さ	備考
①	汚水溝	90L-100-150	-6.00	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
②	汚水溝	45YS-100-150	-6.60	塩ビ製小口径溝 (3cm段差付) 塩ビ製蓋
③	汚水溝	45YS-100-150	-6.90	塩ビ製小口径溝 (3cm段差付) 塩ビ製蓋
④	汚水溝	DR-100-150	-2.40	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
A	雑排水溝	90L-100-150	-4.00	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
B	雑排水溝	90Y-100-150	-4.30	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
C	雑排水溝	90Y-100-150	-4.50	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
D	雑排水溝	90Y-100-150	-4.75	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
E	雑排水溝	WLS-100-150	-5.05	塩ビ製小口径溝 塩ビ製蓋
F	雑排水溝	DL-100-150	-5.15	塩ビ製小口径溝 (3cm段差付) 塩ビ製蓋



配置図 1:500

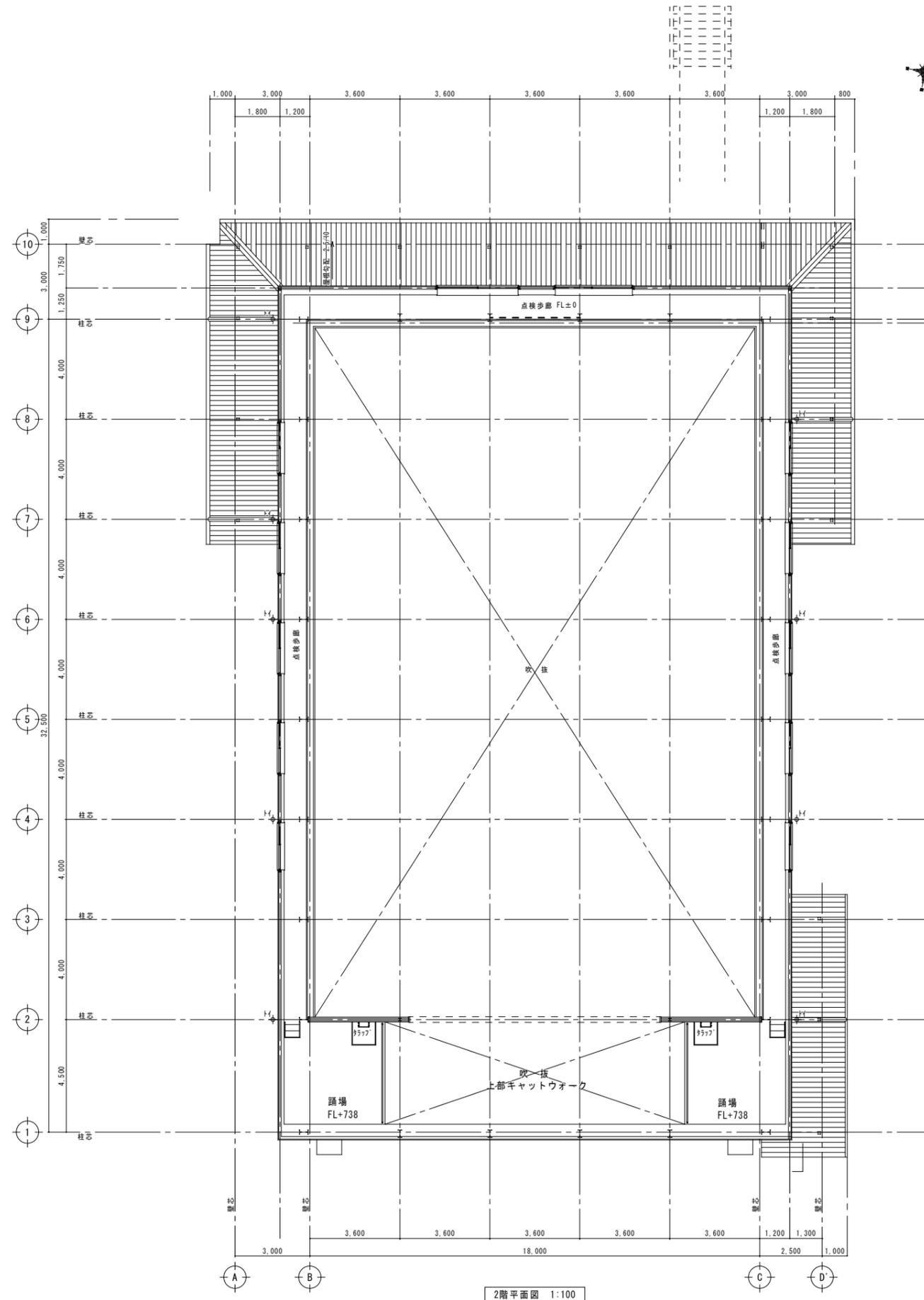
/// 工事範囲を示す。

⑤ 消防栓ポンプ室は08造でその他これらに類するものとなり、延焼の恐れのある部分を生じない



1階平面図 1:100

□	凡例
▭	既存部分
△	室名札
▲	ピクトサイン



2階平面図 1:100

変更年月日・変更事項

福山市建設局建築部設備課

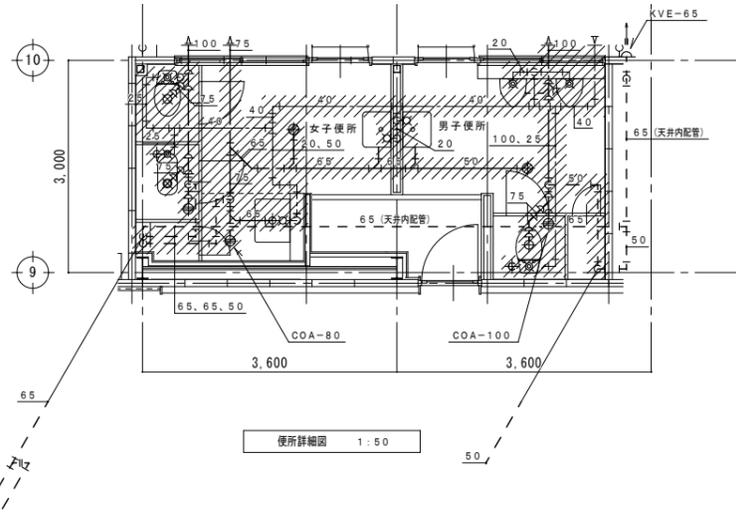
AME
 エイ・エム・イー 株式会社
 〒720-0823 広島県福山市千代田町一丁目16番21号
 一級建築士事務所 広島県知事登録 22(1)第3281号
 一級建築士 第101759号 花房 志保 様

工事名称	福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事	2025年 8月	縮尺率	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	工事種別	機械
図面名称	平面図 (改修後)	縮尺	1:100	図面番号	P / 5	

改修前

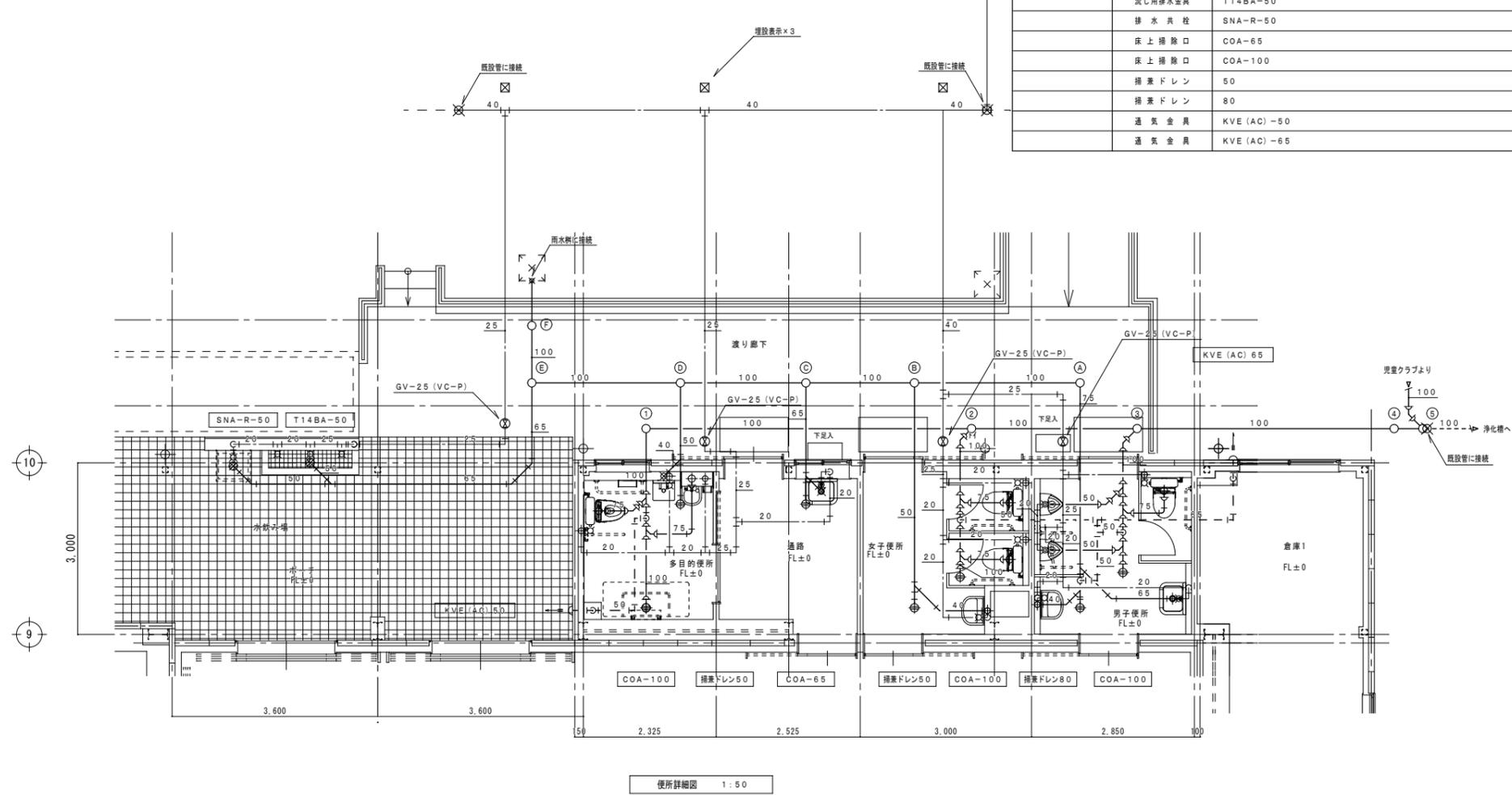
品名	品番・仕様	数量合計	1階			工事区分
			男子用	女子用	共用	
洋風大便器	CS494 (床排水フラッシュバルブ)	(2)	(1)	(1)		撤去 (別途建築工事)
和風大便器	VC311 (TV150NC, T82C32, TS11GRAY)	(1)		(1)		撤去 (別途建築工事)
紙巻器	1個用	(3)	(1)	(2)		撤去 (別途建築工事)
ストール小便器	VU330 (T60P, T62-16, T65A)	(2)	(2)			撤去 (別途建築工事)
掃除流し	SK22, T23AE20C, T37SE1, TK22, T9RJ, TN114X	(1)		(1)		撤去 (別途建築工事)
手洗器	VL710 (自閉水栓)	(2)	(1)	(1)		撤去 (別途建築工事)
化粧鏡	(TS119ASAY3)	(2)	(1)	(1)		撤去 (別途建築工事)
手すり		(2)	(1)	(1)		撤去 (別途建築工事)
床排水トラップ	50-T5A	(2)	(1)	(1)		撤去 (別途建築工事)
床上掃除口	COA-80	(1)		(1)		撤去 (別途建築工事)
床上掃除口	COA-100	(1)		(1)		撤去 (別途建築工事)
通気金具	KVE-65	(1)	(1)			撤去 (別途建築工事)

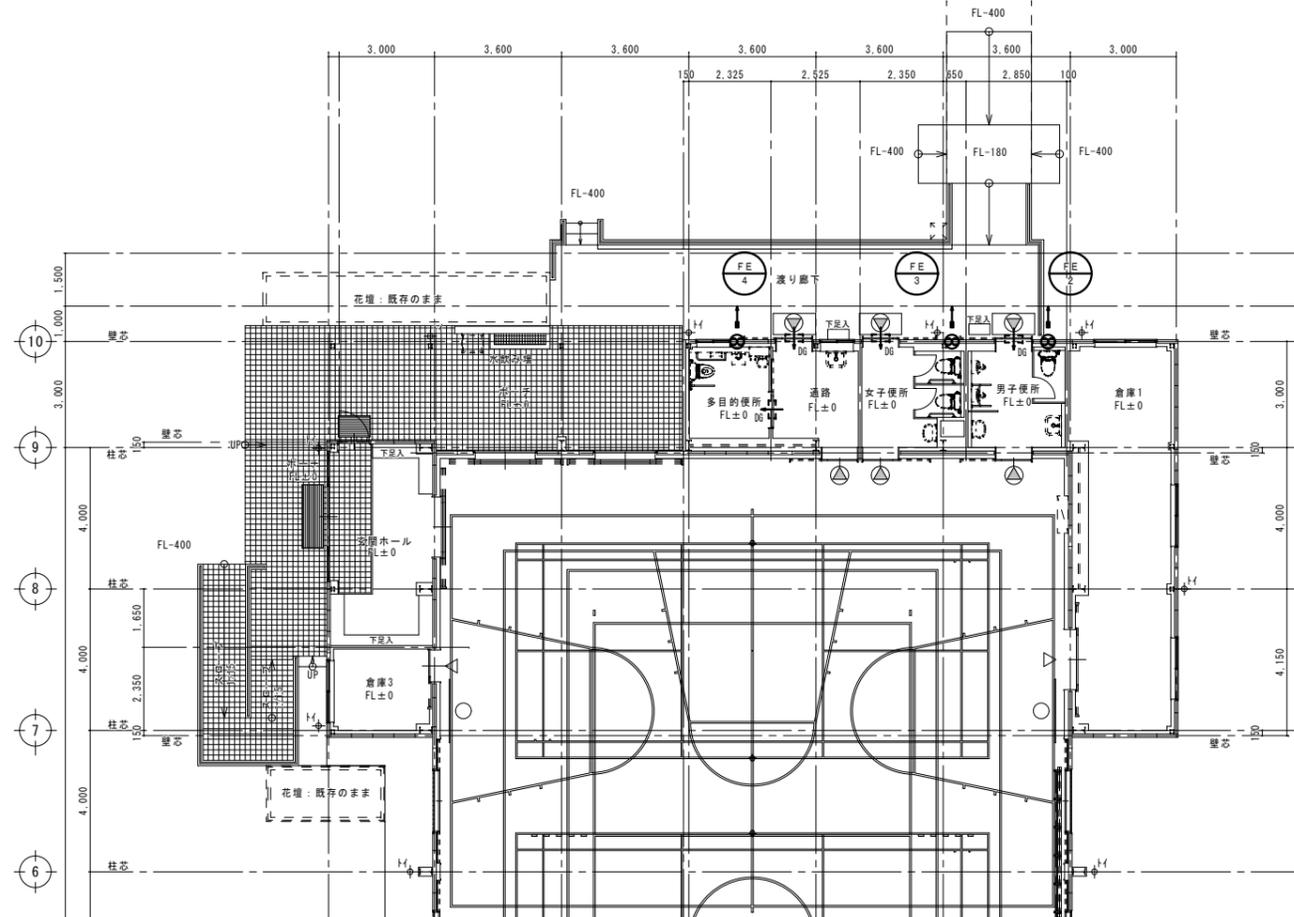
特記事項
 〇は撤去を示す。(給水管・排水通気管を本工事にて撤去)
 土間コンクリート撤去は別途建築工事



改修後

器具記号	品名	品番・仕様 (上段TOTO, 下段LIXIL)	数量合計	1階				
				男子用	女子用	多目的用	水栓小室	通路
L-1	洋風大便器	CS597BCS, SH596BAR, TCF116 (暖房機能) BC-P20SUM, DT-PA250UTK, CF-18ALP	3	1	2			
L-2	洋風大便器	CS597BCS, SH596BAR, TCF5534UY (温水洗浄機能) BC-P20SUM, DT-PA250UTK, CW-PA21LGF-NEC-R1, CF-008-1	1			1		
L-3	紙巻器	YH701 (備付二連) CF-63HST	4	1	2	1		
L-4	小便器	UFH500, TG600PN	2	2				
L-5	オストメイトバック	UAS81LSC1N	1			1		
L-6	掃除流し	PTOM-B210S-NMK, CF-AA23D, PTOM-ESCR SK22A, T23AEQ20C, レバー水栓, TN114, T37SGEP	2	1				1
L-7	洗面器	S-202A, LF-7KEZ-19-U, SF-20SAF-P, SF-10E, SF-202 L270CM, TLE28SS1W (電気式自動水栓), TLDP2201J	1					1
L-8	洗面器	L-275FCR, AM-300C, LF-WN7PF, SF-10E, KF-30DN L210DM, TL19AR (自閉水栓), T6BMP, TL4CFU	2	1	1			
L-9	化粧鏡	L-132AG, LF-P02B, LF-3V, LF-4PAL, SF-10E, LF-6L YM3545FE	2	1	1			
L-10	化粧鏡	KF-3545A, A-669-1 YM6090F	1					1
	手すり	(建築工事)	(4)	(1)	(2)	(1)		
	パブリックシート	(建築工事)	(1)					(1)
L-11	自閉水栓	TL19 LF-P02	3					3
L-12	ホーム水栓	T200SNR13C LF-7R-13-U	1					1
	ゲートバルブ	GV-25 (VC-P)	4	1	1	1	1	1
	流し用排水金具	T14BA-50	1					1
	排水水栓	SNA-R-50	1					1
	床上掃除口	COA-65	1					1
	床上掃除口	COA-100	3	1	1	1		
	掃きドレン	50	2	1	1			
	掃きドレン	80	1	1				
	通気金具	KVE (AC) -50	1					1
	通気金具	KVE (AC) -65	1	1				





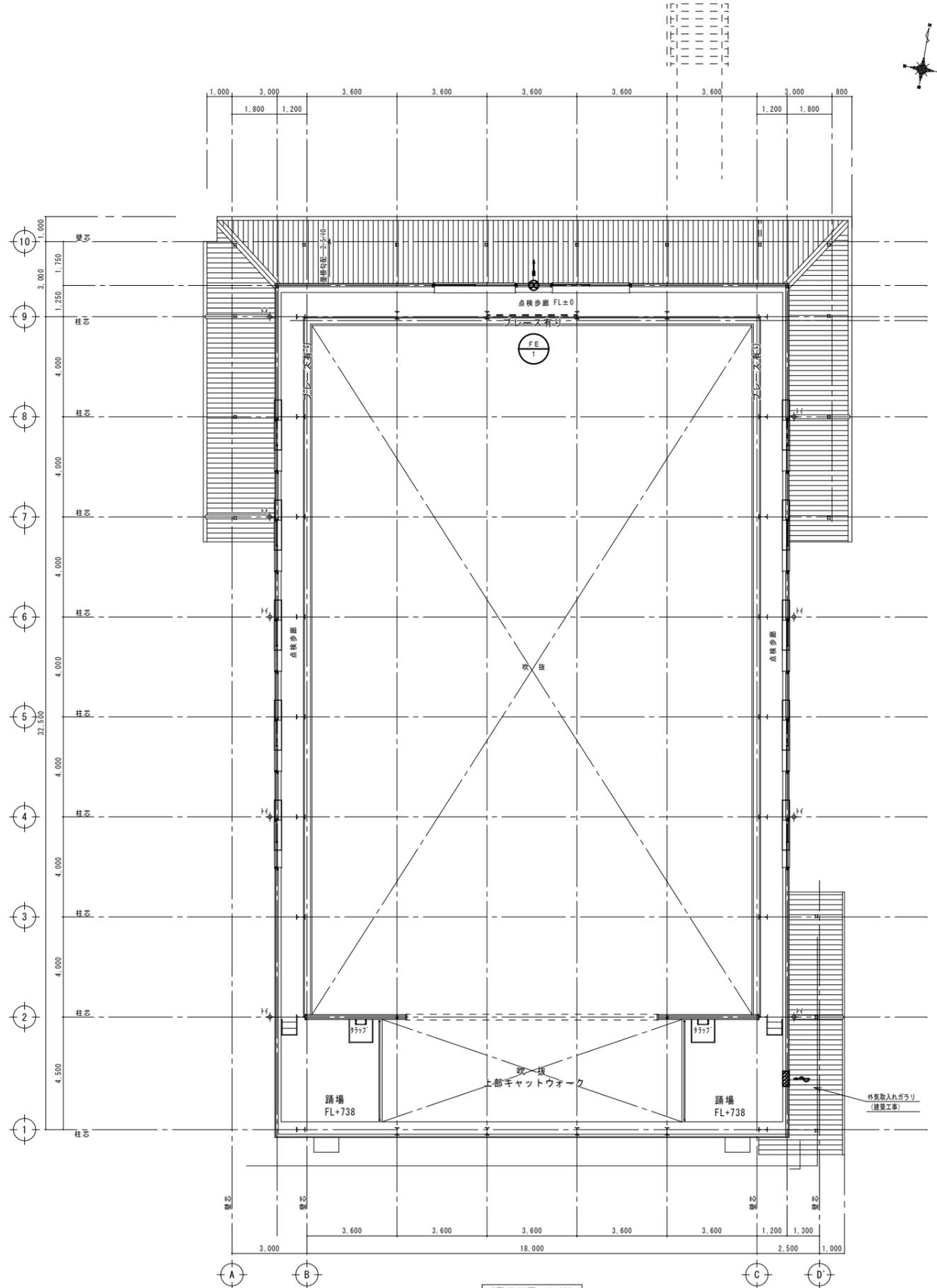
□凡例

□	既存部分
△	室名札
⊙	ピクトサイン
⊕	消火器

1階平面図 1:100

換気機器表

機器番号	設置箇所	型式	仕様	電源	消費電力	電動機出力	参考型番
FE-1	有任廊	縦横形、格子タイプ	風量静圧 500m ³ /h×50Pa 羽根径 300φ	1φ100V	60W	45W	参考型番 (三菱電機) EFG-30KSB2 取付高さを給排歩廊FL から2.0mHに機器の高さ なるようにする
FE-2	壁間	パイプ用ファン	風量静圧 200m ³ /h×10Pa ダクト径 200φ	1φ100V	13.0W	9.75W	参考型番 (三菱電機) V-20PXSD5
FE-3	壁間	パイプ用ファン	風量静圧 215m ³ /h×10Pa ダクト径 200φ	1φ100V	13.0W	9.75W	参考型番 (三菱電機) V-20PXSD5
FE-4	壁間	パイプ用ファン	風量静圧 205m ³ /h×10Pa ダクト径 200φ	1φ100V	13.0W	9.75W	参考型番 (三菱電機) V-20PXSD5



2階平面図 1:100

参考数量書

§ 工事名称 福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市本郷町1040番地1

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市立本郷小学校屋内運動場長寿命化改修給排水衛生設備工事

工事場所 福山市本郷町1040番地1

【工事概要】
衛生設備工事・・・一式
給水設備工事・・・一式
排水設備工事・・・一式
換気設備工事・・・一式

【別途関連工事】
・建築工事
・冷暖房設備工事
・電気設備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

屋内運動場		給水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 20A	33	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管(HIVP)改修	機械室・便所 25A	4	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管(HIVP)改修	地中配管 20A	2	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管(HIVP)改修	地中配管 25A	23	m			
給水・耐衝撃性ポリ塩ビ管(HIVP)改修	地中配管 40A	14	m			
自閉水栓	L-11	3	個			
ホーム水栓	L-12	1	個			
仕切弁(管端防食コア)	10K(ねじ・給水用) 25A	4	個			
弁樹	機 械 ハックホウ0.13m3 VC-P(550H)	4	組			
キャップ止め	HIVP 25	2	か所			
既設管に接続	HIVP 40A 地中配管 保温無し	2	か所			
地中埋設標	コンクリート製	3	個			
埋設標識テープ	150幅	39	m			
給水管 保温	グラスウール 天井内,パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A	8	m			
土工事		1	式			別紙 00-0018
給水装置工事手数料	口径50mm以下	1	式			
計						

屋内運動場		排水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(雑排水管)						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 50A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	屋内一般 65A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 40A	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	7	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 100A	12	m			
(汚水管)						
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 75A	8	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 100A	10	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	地中配管 100A	14	m			
流しトラップ	T14BA 50A	1	個			
排水金物	SNA 50A	1	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 65A	1	個			
床上掃除口(非防水形)	COA 100A	3	個			
掃兼ドレン	50A	2	個			
掃兼ドレン	80A	1	個			
(通気管)						

屋内運動場		排水設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 50A	12	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)改修	機械室・便所 65A	7	m			
通気金具(ハントキャップ)	埋込形 アルミ製 50A	1	個			
通気金具(ハントキャップ)	埋込形 アルミ製 65A	1	個			
(雑排水枦)						
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ビふた付 ～500	1	組			
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ビふた付 ～500	3	組			
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ WLS 塩ビふた付 501～800	1	組			
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ DR 塩ビふた付 501～800	1	組			
(汚水枦)						
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ビふた付 501～800	1	組			
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ビふた付 501～800	2	組			
プラスチック枦	枦径150φ 最大排水管径100φ DR 塩ビふた付 ～500	1	組			
既設枦に接続	100～150mm 150mm	1	か所			
土工事		1	式			別紙 00-0020
計						

屋内運動場		撤去工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(給水設備)						
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管 (HIVP) 撤去	地中配管 20A	3	m			
給水・耐衝撃性 ポリ塩化ビニル管 (HIVP) 撤去	地中配管 25A	23	m			
仕切弁 撤去	GV-20 10K	1	個			
仕切弁 撤去	GV-25 10K	1	個			
弁ボックス 撤去	VC-P	1	個			
配管切断接続 (HIVP)	配管分岐又は配管合流 25A 保温無	1	か所			
配管切断ブランク止 (鋼管類)	屋内一般 25A 保温無	2	か所			
土工事		1	式			別紙 00-0021
(排水設備)						
雑排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)撤去	屋内一般 50A	7	m			
汚水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)改修	地中配管 100A	13	m			
桝内穴モルタル詰め		3	か所			
土工事		1	式			別紙 00-0022
(消火設備)						
屋内消火栓ポンプユニット 撤去	65φ×300L/min×37m 3φ200V5.5kW	1	台			
屋内消火栓ポンプユニット 搬出	65φ×300L/min×37m 3φ200V5.5kW	1	台			
仕切弁 撤去	GV 65	2	個			
逆止弁 撤去	CV 65	1	個			
フレキシブル継手 撤去	FJ 65	2	個			

